No.52



法人のマスコットドッグ(アイドル)の「そうそうの杜 びん」と言います。最近は年のせいでだいぶ弱ってきましたが、この 9 月で 17 歳の誕生日を迎える予定です。若い時のようなわがままな行動が見られず寂しくなってきました。

令和 4 年 6 月 発行人 荒川 輝男 編集人 出口 祐也 社会福祉法人そうそうの杜 〒536-0013 大阪市城東区鴫野東 3-2-26 Tel 06-6965-7171 / Fax 06-6167-2622 / HP http://www.sou-sou.com/

そうそうのます



No.52 Contents

■小さな花々たち 關宏之さんのエッセイ(1)(2)(3)(4)

關 宏之 …3、7、10、15

■「びんの郷(さと)」新築計画について(報告)

真頼 正施 …5

■引っ越ししました。今福事業所から Prife へ

手塚 勇太 …6

■鴫野地域活性化プログラム しぎのぼっチャ&モルック選手権大会

ぼっチャの部・樋口 尚紀 モルックの部・大竹 寛輝 …8

■お世話になっております(インタビュー)

出口 祐也 …11

■スタッフからの便り 和田数子より荒川へ 靴下の穴から見える世界

和田 数子 …13

■ふらっと ~鴫野での暮らし~

中西 洋平 …14

■障害者問題報道の「視座」

監事 鍋島 康秀 …16

■目指すは介護福祉士!!ミャンマー人留学生の奮闘

理事 宇野 達美 …18

■現在のミャンマーの近況

ソー・アウン(支援スタッフ)…21

■そうそうの杜写真館

...22

■七夕祭り・風鈴街道ポスター

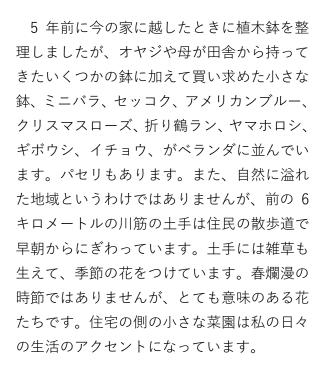
...23

■寄付にご協力いただきありがとうございます

...25



小さな花々たち 闘宏さんのエッセイ(1)



土手に咲く花

雑草に覆われた土手で控えめに咲いている 花と強烈に自己主張をしている花がありま す。楚々としてひっそりと咲いているのがね じ花で、大声で咲いているのがキンケイギク (金鶏菊)です。



①ねじ花 (捩花)



難しい漢字です。その名の通り、茎の周りに らせん状に可憐な花をつけます。日本各地に 広く自生しているようで、広島にいた時に、道 端にポツンと咲いているのを見つけて丁寧に 掘り上げ持ち帰り鉢に植えました。一昨年も 土手から掘り起こして持ち帰りました。しか し、すぐに枯れてしまったのです。

ねじ花の花言葉は、「思慕」、「思い慕うこと」 「恋しく思うこと」だそうですが、この花言葉 には、万葉集の歌が由来しているといいます。 「芝付きの三浦﨑に生えている、ねつこ草の ような可憐なあの娘に、もし逢うことがなか ったら、どうしてこのように恋い焦がれるこ とができただろうか。」、「あなたに出会ってい なければ、あなたを思ってこんなに心苦しい ことはなかったはずなのに…。|と解説されて います。ねじ花のいじらしげに咲く様子をひ たすら相手の姿を重ね、恋しく思う様子とし たのでしょう。

持ち帰った途端に枯れてしまったのは、そ んな淡い意味も知らないで一人占めにしよう としたことへの警告のようにも思えます。雑 草交じりの過酷な状況であってもねじ花には そこが最良の場所なのです。無理やり生き方 を変えるような勝手な外圧を加えてはいけな ったのです。「やはり野に置け!」の言葉通り です。



②キンケイギク (金鶏菊)

この時期になると川筋の土手に 50 メートルにわたってコスモスに似た黄色い花が咲きます。キンケイギク(金鶏菊)です。この花の由来について、わが住宅の大浴場の脱衣所で、5 人の方々が風呂場談義をされていました。私ごときが入る余地はなく、興味深く聞かせてもらいました。

5人のみなさんは、もうあかん年齢や!といいながらもおばあさんたちのアイドルの K さん、今もプレイボーイのままの H さん、がんこじじいを地で行く F さん、温厚なお人柄の N さん、神戸出身のイッチョカミの Y さん。いずれも 85 歳以上、従軍の経験はありませんが、幼い日々に戦争を体験された方々です。

鹿児島出身のHさん主導で話が進められました。彼によれば、神風特別攻撃隊の出撃基地には、陸軍の特攻基地だった「知覧」(南九州市)と海軍の特攻基地だった「鹿屋(かのや)」(九州南東部、大隅半島の中央部)があり、基地としては、人員・機体数ともに鹿屋が知覧を上回り、特攻隊員として



800 名以上が出撃したそうです。この鹿屋はキンケイギクの土地として知られ、3月に芽を出し6月にはそここで咲き誇るのだそうです。基地から飛び立つ若い特攻隊員たちを土地の娘たちがキンケイギクの花束をふりかざして見送ったそうで、その種子が落ち、芽生え、この地で年々繁殖して開花するようになったので「特攻花」と呼ぶようになったというのが話のおちでした。風呂場談義の5人の方々には第2次世界大戦の記憶と重なり、「哀しい話やな!」と結論されて「特攻花」談義は終わりました。

特攻隊の花は桜やないか、南方戦線から帰還した航空機の車輪に種が付着したんやないか、北米原産だと聞いたけどなんで鹿屋なんや、外来種で GHQ (進駐軍) が持ち込んだという説もあるようだ。ことの真偽はわかりませんが、その原風景は、1993 年の TBS 系のドラマ「空よ海よ息子たちよ」の光景が影響しているようだともいわれます。娘たちがキンケイギクの花束をふりかざして隊員を送ったというのはあるいは演出された光景だったかなとも思えます。

私の周りで咲いているキンケイギクは、今年も鹿屋でも咲き誇っていることでしょう。 先の戦いで散った若い命の存在を知らしめ、 数々の記憶を記録として今に伝えているよう に思えます。

「びんの郷(さと)」新築計画について(報告)

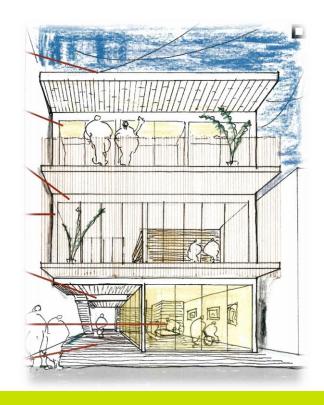
真頼 正施

2018 年 10 月、鴫野東 3 丁目に「しぎのあ・うんの杜」が竣工し、本部機能を集約した。同時に、「杜の Shokudo」を開所、さらに「伝」を移転した。結果、鴫野エリアに大きな拠点を持つこととなった。以降、年表の通り、蒲生エリアに点在していた事業所を、少しずつ鴫野エリアに移転した。しかしながら、ここ2年間は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、社会活動の多くが制限されていたため、地域に対する公益的な取り組みができなかった。

今回、鴫野東2丁目に184㎡の土地を購入 し、室内の延べ床面積が約313㎡の鉄骨3階 建を建築予定である。事業内容は1階に生活 介護事業所、2 階に児童発達支援・放課後等 デイサービスをそれぞれ移転し、3 階に自立 訓練を新規開所する予定。以前から、高等学 校を卒業したばかりの 18 歳が、すぐに就労 移行支援や就労継続支援B型で作業に集中す ることが難しく、一定モラトリアムのような 期間が必要ではないかと感じていました。実 際、利用を開始した後に様々なアプローチの 結果、かかわり方や方針変更、事業所の変更 を提案したこともありました。ご家族や本人 との話の中でも、就労や労働に対するレディ ネスができていない…それがダメであるとい うわけではないのですが…そこにニーズがあ るということは確認できていました。学校と いう守られた社会から、様々な大人たちや自 分より年上の人達がいる空間に毎日通所しな ければならないことに不安を感じている新卒 の18歳は多いでしょう。食事・お金・体調管 理等生活上の困りごとについて、今まで家族 や先生に頼ってきた部分を、新たな環境で解 決し少しずつ自身の力になるよう本人と一緒 に取り組みたいと考えます。

現在、そうそうの杜には成人が利用する日中活動事業所が8カ所あります。うち、就労系の事業所は5カ所。その人の特性に合わせた事業所への入り口として機能することを目指し、計画を進めていきます。

年月	できごと
2018年10月	「しぎの あ・うんの杜」鴫野東3丁目に竣工
2019年1月	「つむぎ館」鴫野東3丁目に移転
4 月	「地域生活サポート事業(公益事業)」開始
5 月	「いま福の家」今福南4丁目に開所
9 月	「Lian の杜」鴫野東3丁目に OPEN
2020年9月	「創奏」鴫野東3丁目に移転
2021年4月	「座座/座」鴫野東3丁目に竣工「座座」開所
7 月	「綾」鴫野東3丁目に移転
2022年5月	「想」鴫野東3丁目に移転
5 月	「Prife」東中浜2丁目に開所



引っ越ししました。今福事業所から Prife へ

手塚 勇太

2022.5.1 より今福から中浜へ事業所の場所 が移転することとなった。今福事業所という 地域に密着したネーミングから今福地域を離 れた事により、事業所の名前を変更する運び となった。事業所の名前を考える際には以前 の様に中浜という地域の名前を取り入れた事 業所名にするのか、それとも全く新しい名前 を考えるのかという前提から考えはじめた。 地域名を事業所の名前にすると、「別の地域 に引越しするたびに名前が変わるのはどうな のだろう…。できれば思いのこもった名前を つけたい」と考え、事業所としての方向性を 見直し固めていくことから考えた。今福事業 所が就労継続支援 B 型および就労移行支援事 業所だったので働く事とはどういうことなの だろう?働く事によって得られるものはなん だろう?という視点から事業所の名前を考え る事にした。働くということはお金が貰える ということはもちろん大きい部分ではあるが それだけではないと私達は考え、働く人それ ぞれが社会の中でそれぞれの職場・環境で重 要な役割を担っている、その事が全ての人に

とって「自分は社会の中で必要な存在」であるという思い、『誇り=Pride』になっていると考え、その誇りが『人生や生活=Life』につなげ充実感、喜び、達成感を感じさせてくれる本当の意味で働く事の重要な部分になっているのではないだろうか?誇りのある人生を送って欲しい。そんな思いから『誇り=Pride+人生や生活=Life』=【Prife】と名付けた。

名前の通り利用者だけでなくスタッフを含め事業所全体として働くことに誇りを持てるように、現状をただ続けるのではなくどんどん新しい事にチャレンジしていける事業所で在り続けていきたい。

一つめのチャレンジとして事業所内でのクッキングを移行支援プログラムとして実行していく、ただ料理を作るのではなく、自分でメニューを決めるところから始め \Rightarrow 買い物 \Rightarrow 料理作り \Rightarrow 片付け(洗い物) \Rightarrow 反省点を書き次回に向けて修正していく事までを一連の流れで行っていく。(月2回程度)

以降も色々な取り組みを展開していかなければならない。





小さな花々たち _{關宏之さんのエッセイ(2)}



ユキノシタ(雪の下)

弟の息子たちが病弱で、母がユキノシタの 絞り汁を飲ませればひきつけなどの病気に効 くのだと田舎から持参しました。私も幼いこ ろ虫刺されや傷薬として庭先のユキノシタを 絞って患部に貼り付けたことがあります。ユ キノシタは、越中富山の置き薬と同様、在所 では生薬として重宝されていました。母親は、 孫たちのことを心配してわざわざ田舎から持 参したのですが、万全の治療体制に委ねてい た弟には全く論外なことに映ったようです。 母親は「要らないといっている。せめてお前 の家に植えてくれ、必要な時には弟に使わせ てやってくれしとって、庭の片隅に植えまし

た。もう30年も前のことです。弟の息子たち はすっかりお父ちゃんになり、彼らにユキノ シタは必要ありませんでした。

ユキノシタは漢字で「雪の下」と書きます。 冬越えの厳しい時期、雪の下でも緑色の葉を 広げます。湿地のじめじめしたところで乾燥 した土地でも触手を伸ばして健気に増殖しま す。過酷な環境でも育つ強い植物ですが、小さ な白い花をそっと咲かせる控えめな草花で す。引っ越しのときに捨て置けないので庭の 片隅から掘り起こして移植して持参しまし た。今年も小さな可憐な花をつけました。ユキ ノシタの花言葉は「愛情」だそうです。



しぎのぼっチャ&モルック選手権大会

新型コロナウイルスの影響により様々なイベントがストップしていました。 そろそろウィズコロナを見据えて活動自粛をストップさせようと企画しました。

関係者を含め約 200 名の参加があり各ゲーム 16 チームずつ 1 チーム 5 人のエントリーでそれぞれリーグ戦を行い、その後決勝トーナメントを行いそれぞれチャンピオンを決めました。おかげさまで大成功に終わりました。最後にご協力いただいた城東区区長、城東区保健福祉課長、城東地域活動協議会の皆さま、そして会場を貸していただいた城東幼稚園の皆様にこの場を借りてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

おめでとう

チャンピオンチーム しぎのぼっチャ にゃんこ モルック ミャンマー留学生チーム

ぼっチャの部

樋口 尚紀

この日は晴天に恵まれ、長袖を着ていると 暑く、袖をまくり上げた腕は大会後にはすぐ にわかるほど日焼けをしているほどでした。

私は第一コートの審判をしており試合中の 全体の様子は見ていません。見る余裕がなかったというのが正しい表現ですね。それでも 皆様が楽しんでいる雰囲気は感じており、そ の雰囲気が安心感となり審判に専念すること が出来たのかもしれません。

今回は前回と違いモルックと同時開催でコートは3コートで行ったため、1チームあたりの試合数は少なく、空き時間も長くなることもあったかもしれません。ですが皆様のご協力のもとスムーズに大会を進めることができ、ほぼ予定通りに行えることが出来ました。

大会の結果はお子さん3名のチームが優勝されました。聞けばボッチャは初めてとの事。 うまく投球出来ず不安な表情を見せることもありましたが、それでも諦めず試合を続けて

いました。そして最後の 1 投で大逆転勝利を 収めることが出来、その瞬間は大盛り上がり でしたね。前回もそうですが子どもの成長や 力は驚かされます。表彰式で代表の保護者の 方が大会の感想を突然振られた際には大会へ のお言葉も含めた話をされていましたがとて も素敵で有難く思いました。私ならとっさに あのようにうまく話せません…。

惜しくも 2 位になったのは城東区地域活動協議会のチームでした。私個人としての感想で失礼ですが「またあなた方ですか(^_^;)…」と呆れてしまいました。というのも前回も優勝争いまで勝ち残るほど本当にチームの皆さんお上手で、審判をしていても笑ってしまうほどでした。

最後になりますが次回の開催も予定しています。今回のように年齢や立場関係なく地域住民同士で楽しめる時間を過ごしたいと思いますので、ぜひ皆様のご参加をお待ちしています。そして今回も場所を提供していただいた城東幼稚園様には本当に感謝致します。ありがとうございました。

大竹 寛輝

いきなりですが、皆さんはモルックという 競技をご存知でしょうか?最近、テレビで取 り上げられたり、お笑い芸人がモルック日本 代表になったりと、ぼっチャに次いでジワジ ワと人気が出ているスポーツです。

元々はフィンランドで100年以上続く競技が基になっています。それを誰でも気軽に出来るように改良されたスポーツです。

簡単にルールを説明しますと、 $1\sim12$ まで書いてある木の棒を投てきで倒します。倒れた点数が 50 点ちょうどになったチームの勝ちになります。

「なんだ、簡単じゃん。」と思われるかもしれませんが、ただ倒すだけではなく、ちょうど50点になるように計算したり、相手に倒させないように標的を当ててずらしたりなど、意外と頭も使う頭脳戦ゲームだったりもします。

うそうの杜の大会に参加してください!

そうそうの杜では様々な事業所があります。この大会が近くなると、ぼっチャも含め 「勝つ為の練習」を公園でしている賑やかな 声が聞こえてきます。

それでは、大会の様子について報告させていただきます。コロナ渦という事もあり、投てき毎の消毒など感染症対策に配慮しながら開催しました。嬉しいことにそうそうの杜の事業所を含め、モルックは16チームの参加がありました。地域の方や他法人からも多くの参加がありました。ありがとうございます。

競技は3コートで16チームのリーグ戦・決勝トーナメントを行いました。皆さんの協力もあり、複雑な進行でしたが大きなトラブルなく無事終えることが出来ました。

最終的に優勝チームはそうそうの杜で働いているチームが優勝しました。コロナ渦中で思う様にイベントが出来なかったり、外出できなかったこともあり皆さんの笑顔がとても印象的でした。



小さな花々たち 闘宏とさんのエッセイ(3)



あじさい (紫陽花)

ピンク色のガクアジサイを近くの花屋さんで購入し、随分と楽しみました。咲き終わったので菜園に移植しました。菜園にはボタンの花もありまた。

そろそろ梅雨入りかなというこの時期の風物詩として、"水色・紫・ピンク・白"と色とりどりの紫陽花が咲きます。

不思議なもので、その色合いは、紫陽花本来の特性にもよるのだそうですが、最もその土地の酸性・アルカリ性の濃度に左右されるということです。その地の"くせ"に染まるのです。あじさいは自分色をもたないのです。自分色よりもその周り色に染まった結果ということになります。

私たちが関わっているソーシャルワーク (社会福祉)は、「知識」「技術」「価値」から 構成されるといわれます。「知識」「技術」は 学び、習熟すれば獲得できますが、もっとも難しいのが「価値」という難題です。価値観が理にかなっていることを「社会正義」というのでしょうが、私たちの強烈な"くせ"も価値観の衣をまといます。時に偏狭な社会正義となり、他者からはなんとも許しがたい独善と批判されることも確かです。

それぞれがもっている自分色は強烈な自己 主張であり、その人の人となりを示し、原動 力であり、パーソナリティーともいわれます。 私たちが関わる障害のある人たちには、それ それぞれに思い描く花を咲かせてもらいたい もので、無理強いして私たち色に染めること と福祉的なアプローチは同列ではありませ ん。それぞれの場で培われた"くせ"に染まる ことは大切ですが、"くせ"の限界を越えること とも必要な気がします。あじさいの花は今年 もおおらかに、朱に染まりながらも知らん顔 して咲いています。





お世話になっております (インタビュー)

出口 祐也

今回から新しい企画として地域の方々にインタビューをさせていただき鴫野地域の様子を報告いたします。第1回目の今回は城東校下地域活動協議会会長の片岡三蔵さんに鴫野の様子やそうそうの杜についてインタビューをさせていただきました。片岡会長お忙しい中時間をさいていただきありがとうございました。

出口: 昔の南鴫野商店街について教えてください?

片岡さん:昔の商店街は戦後は今のような家 があるのではなく露店で物を売っていて闇市 みたいなところで、にぎやかというよりも生 きてくために必死な人でいっぱいでしたね。 売っているのも生活物資関係で食料品が中心 で、アーケードもなかったです。テレビとか で戦後の観ているのと同じような景色でし た。それから今の商店街の形になったのは大 体 20 年ぐらい前だと思います。アーケード は作るときにとてもお金がかかっててるみた いだけれど、お客さんは便利と言ってくれて いますね。本当は向こう側(鴫野あ・うんの 杜の前の通り)もアーケードにしたかったけ どそれはできなかったのは残念でしたね。そ こも繋がっていたら雨の日とかもっと便利だ ったでしょうね。

昔はコノミヤさんとかもなかったから物を 買いに行くとなったら商店街か公設市場(現 在マツモトキョシさんがある場所)でみんな 買い物をしていました。 **出口**: 鴫野駅周辺は昔どのような様子でしたか?

片岡さん:電車は鴫野の駅の線路も今みたい な高架の立派なものではなく、下を通ってい て四条畷まで汽車が走っていましたね。本数 も乗る人が少ないから2時間か3時間に1本 くらいでした。子供の時はそんなに頻繁では ないけれど乗ったりもしていましたよ。運賃 も今より昔の方が安かったとも思います。踏 切もあってそこで子供とかは汽車が来るのを 見て楽しんだりしていましたね。踏切の遮断 機は今みたいに自動で降りないから手回しで 降ろさないといけなくて、それを管理する国 鉄の人が2、3人いつもいたけれど、その人と よく話したりして、それも楽しみの一つでし た。京阪電車は放出とか住道に住んでいる人 も見えたみたいです。なぜかというと建物が 今みたいな高くはなかったです。だから昔は 橋の上とかでも大阪城が見えていたけど今は 見えなくなってしまいました。それから鴫野 の近くに映画館が3か所も昔ありましたよ。 洋画とか邦画とか日活とかあって、楽しみの 一つでした。いろいろ変わってはいますけど、 今考えると昔は不便であったけれどその頃は 不便とは思ってなかったですね。遊ぶものは 少なかったけど、ものすごくゆったりとした 自然の中で。町の様子というのは自然の流れ で変わっていますね。

出口: そうそうの杜についてはどう思われていますか?

片岡さん:ぼっチャ・モルック大会とかそう めん大会とか積極的にいろんな行事を作って くれていますね。行事をするとやっぱり人が 集まってくれるし本当に貴重だと思っていま す。行事をやろうとしたら人手がいるけどそ ういう意味でもそうそうの杜さんは機動力が ありますね。商店街では空き家になったとこ ろとかも借りてもらったり、買ってくれたり していろいろしてくれているから賑やかさは 前よりはよくなってきていると思います。み んな何もしなかったら寂れていくのはわかっ ていますからね。それをしてくれるのはみな さん喜んでいますし、区政だよりの配布の取 り組みもよかったなぁと思っています。後は 文化面でもいろいろな行事に力を貸してくれ ることを今後は期待しています。

出口:これからの鴫野についてどのようになってほしいですか?

片岡さん: 若い世代のお母さんとかお父さん、子供とかが楽しめるような場所が鴫野にあればとは思いますね。ファミリータイプの大きい食堂とかできてほしいですね。居酒屋とか飲み屋は多いけれど、ファミリーレストランとかに行きたいと思う人はみんな京橋か流でとかに行きたいと思うしまうじゃないますか。大きい土地を借りてファミリーレストラン、荒川さんのところでどうですか?構想に入れといてください(笑)。これからの鴫野はどういう風に変わっていくか期待もあるしまがないう面に変わっていくか期待もある意識がないらかの形で変えるというような意識がないとだめですね。自分たちは関係ないてしまいとだめですね。



靴下の穴から見える世界

和田 数子

口腔ケアの日にTさんの口の中を見学させてもらった時、初めてTさんの足の裏を見た。「こんにちは、親指くん」

靴下にぽっこり穴が開いていて、ぷっくりと 親指が覗いていた。

歯科衛生士さんは座布団を枕にしたTさん の歯と歯茎の隙間を丁寧に磨いてから、

「はい、これで終わり。コップの水で口をす すいでね」

と口を開いたままのTさんを促した。モソモ ソっと紙コップを手にして洗面台に向かう。

私の役目は、彼の豊かで安心できる暮らしのお手伝いをすることだ。私より背丈のあるTさんは、炊事場で横に立っている時も食卓で向かい合っている時も目線は私より上だ。彼がいつもどんな景色を見ているのか、何をどう感じているのか、穏やかに寄り添っていきたい。小さな声で言ってみる。

「靴下の穴、直してもいいかな」

糸は刺繍糸にしよう。目立たぬよう同系色でかがるもよし、カラフルな色づかいで水玉模様にしてもよし、本人の希望も聞いてみよう。

靴下産業は大手企業が生産拠点を海外へ移したことで中国製があたりまえになっている。日本製と言えば奈良が名産地だ。自前で販路を拡大し、品質の良い製品で自社ブランドを立ち上げ生き残りを図ってきたメーカーもある。値段が高くても長持ちする。穴が開いたらかがって履くと愛着が出て物を大切にする心も育つ。

日本は国際競争を理由に安い労働力を求め、手放してしまった技術がたくさんある。

安いものを使い捨てにする消費者の悪しき習慣も否めない。

「かけはぎ」という技術をご存知だろうか。 共布を糸にして、縦糸と横糸を補って衣類に できた傷や虫穴を修復する高度な手仕事だ。 こころの傷も周りのこころと出会いながら一 本一本織り込んでいく。

そうそうの杜らしい「綾」を作っていきたい。

私が靴下の穴に針を刺しながら奮闘している姿をじっと覗き込んでいるTさんの柔らかな視線を感じる。

なぜだろう、こんな時私はとても幸せな気 持ちになるのだ。

2022.4.7 そうそうの杜はすっかり春です。



ふらっと ~鴫野での暮らし~

中西 洋平

「ふらっと」ができました!

・現在、鴫野地域には数十名の方が1人暮らし・下宿屋4件の住居を構えている。蒲生地域に居宅介護支援事業所の「とことこっと」があるのだが、もっともっと身近で生活全般をみることは出来ないか?鴫野地域の憩いの場は作れないか?から南しぎの商店街の中にある下宿屋「綾」の1階に2022年4月から事務所を構えることになった。

名称の由来は?

・誰もが「ふらっと」立ち寄れる場所(憩いの場)・誰もが気軽に出会える場所にという想いからである。

開所時間・曜日は?

・開所日:月~土

・開所時間:14:00~20:00

常駐時間は18:00~19:00

常駐時間以外でも利用可能

・上記の開所・時間以外でも鴫野地域の人た ちの生活を法人全体でみている。



「ふらっと」の役割は?

・鴫野地域に住む人たちの生活・余暇支援・ 必要な時に動ける体制づくり・生活の質を高 めること。

居宅としての生活支援はもちろん、余暇の過ごし方では、「ふらっと」に集まり、クッキングやゲームや勉強会など試行錯誤をしながらではあるが不定期でミニ行事を開催。

まずは、皆さんと一緒に楽しむことを前提に「ふらっと」という場所をきっかけ作り・ 交流の場所に作り上げていけたらと考えている。(まだまだ道半ば…地域・利用者と共に作り上げていきます!)

時には、悩みや愚痴を聞いたり…本や動画を観たり家で出来ることでも「ふらっと」に来て過ごすなど様々である。1対1の方が話しやすいな~と言う方には空間づくり・訪問などもしている。

生活支援では、1件1件訪問させてもらい、現状の確認・関係作りから始めて生活での困りごとなど聞いてみると、「ないです」の次には違う話は出るわ出るわ(笑)。こちらは気になるところがあるんですけど…と心の中で思いつつもまずは第一歩。本人たちが気づいていない部分を掘り起こし、痒いところに手が届くように心がけていきたい。そして「ふらっと」としても地域で生活し続ける支援を考え、地域とのつながりも大切にしていきたい。

小さな花々たち _{關宏之さんのエッセイ(4)}

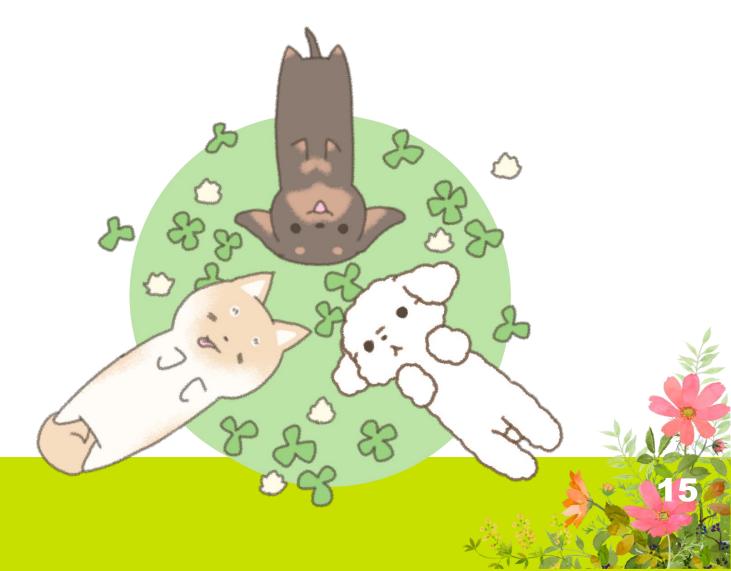


花のこと

眠れない時に"ラジオ深夜便"を聞くことが あります。たまたま昨年の10月に、杣田(そ まだ) 美野里さんのエッセー、短歌、写真が 収められた「キャンサーギフト 礼文の花降 る丘へ」 が出版され、北海道での礼文島での 花と生活の 30 年が語られました。刊行され て礼文島の紀行文の集大成のようでした。杣 田さんは余命宣告を受けながら礼文の自然に 咲く小さな花々の姿を克明に丁寧に短歌とと もに紹介されています。放送の中でこんな一 言がありました。「私は礼文の自然や草花に出 会った感動を書いてきましたが、よくよく考 えてみると私はたまたま偶然に出会っただけ

で、あの花たちはずっと、太古の昔からそこに あって咲いてきたのです。それが自然の営み なのです | 「自分の特権のように書いてきまし たが、そうではなかったのです」と語られてい ました。

しかし、"星の王子様"は、降り立った星で出 会ったバラの花に向かって、「君は特別なバラ なんだ。私とのかかわりがあったからね」とい うくだりがあります。「出会いがたまたまの偶 然だったとしてもお互い間に気持ちが通じ た、会話があったということはとても意味の あることなんだ」と語っています。出会いは、 神様のできごころであり、こころくばりなの かも知れません。



障害者問題報道の「視座」

監事 鍋島康秀

(社会福祉法人和 理事長)

「視座」とは「物事を認識するときの立場」と言う意味です。なぜ急にこのようなことが気になったのかと言うと、5月6日NHKが『障害者の入所施設 待機者1万8000人余背景に「老障介護」か』を放映、話題となりました。国が入所施設をつくらなくなり20年以上、その間40歳以上の在宅(家族と暮らす)障害者人口が5倍になり、多くの親たちが将来に不安を感じていると報道するものでした。



画像出典・©NHK https://www3.nhk.or.jp/news/html/20220506/k10013613071 000.html

私自身は、この報道を目にした時、瞬時に 底知れぬ違和感を抱きました。何故なら、こ の原因こそは障害者、国民、市民に対する国、 自治体の憲法違反にも相当する「不作為行為」 の結果であると思うのです。そのため、むし ろこの報道を行った報道機関そのもののあり 方、まさに「視座」がとても気になったので す。この報道機関とは NHK なのですが、番組 では「老障介護」と言う象徴的な「言葉」に視 聴者の視点を引きつけ、「親亡き後」の問題…、



画像出典・©NHK

https://www3.nhk.or.jp/news/html/20220506/k10013613071 000.html

家族の介護負担問題に矮小化されていると思えたのです。

「物事を認識するときの立場」を「視座」と 言うことを冒頭に述べたのですが、この報道 主体である NHK の今回の報道に対する視座 はどこにあったのでしょうか?容易に想像で きることは、「障害者がいる家族は大変だ!」 以上でも以下も無いように思えるのです。一 見、事実に即した数字をもって報道している 風ではありますが、「老障介護」等という言葉 をステレオタイプに垂れ流しているに過ぎないと思います。背景にある歴史的な障害福祉 施策や、当事者、家族、関係者の声、具体的に 何を訴えてきたのかが全く封印されてしまっ ています。

障害者が安心して地域生活を送ることは、 現代日本の障害者福祉の常識的観点からすれば、第一義に本人の問題です。たとえさまざまな理由から、家族の庇護下での生活を余儀なくされている障害者が増えている現実があるとしても、この問題はあくまで本人の問題であり、「親の将来不安」の問題として語るべきことではありません。 今回の NHK の報道の「視座」がまさにこの「家族=親」に拠っていることは、容易に想像がつきますが、このことが事態の本質を完全に外していること。むしろ、遅れた障害者観を流布していることにNHKは気付かなければなりません。

あらためて言いますが、今回の報道は日本 国憲法第 11 条の基本的人権…、第 22 条居住 の自由、第 25 条の生存権等を問う「視座」か らつくられるべき内容のものでした。今更で すが、改めて日本の報道メディアの質の低さ を痛感しました。同時に、この報道に反応で きなくなっている私たち自身への不甲斐なさ も…。障害者福祉の低迷は続く他ないと感じ る今日この頃です。



画像出典・©NHK https://www3.nhk.or.jp/news/html/20220506/k10013613071 000.html



目指すは介護福祉士!!ミャンマー人留学生の奮闘

理事 宇野 達美



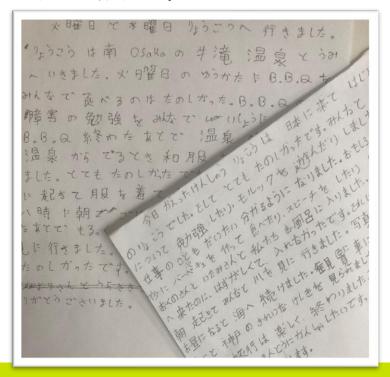
画像出典・©偏向市ホームページ https://www.city.fukuoka.lg.jp/soki/k_kouryu/shisei/yangon. html

そうそうの杜でミャンマーの人たちに日本語を教えて、早くも1年が過ぎた。日本語学校に通っていた彼ら、彼女らも、この4月からは介護福祉士を目指して福祉の専門学校へ通いながらアルバイトを続けている。

思えば日本語講座を始めた昨年の5月は、ミャンマーで国軍によるクーデターが起きた直後だった。ミャンマーについては、アウンサンスーチーさんや『ビルマの竪琴』位しか知らなかった私は、これではあまりに恥ずかしいと思い、いくつかのミャンマー情勢の学習会に参加した。ミャンマーには135以上の民族が存在すること、過去にもクーデターを民主勢力の闘いが繰り返されており、このクーデター前から国軍と戦い続けている民族がっていること、等々を知った。構造になっていること、等々を知った。

そうそうの杜でアルバイトしているミャン マーの留学生の皆さんは、このクーデター前 に日本に来たわけだが、現在も国のご家族や 友人たちと SNS でつながっており、当たり前 だが祖国の民主化を願っている。

ちなみに、クーデター直後は日本でも連日 ミャンマー情勢が報道されていたが、その後 アフガニスタンでのタリバン政権発足、ロシ アのウクライナ侵略によって、ミャンマー関 連の報道は少なくなった。しかし、現在も民 主化勢力の抵抗、国軍による虐殺は続いてい る。この原稿を書いている今も、6月3日に 国民民主連盟(NLD)議員4名に死刑執行が 承認された、とのニュースが伝わった。この ような情況の中でミャンマーの留学生はいる のだ、と改めて思う。ところで、現在日本語 講座は主に日本語能力試験(JLPT)に向けて の試験勉強だ。障害福祉や日本の文化などに ついても時間を取りたいと思うが、この7月 に JLPT の試験があるため、試験勉強に集中 するのは致し方ない。



JLPT は N 5 から N1 までのレベルで 7 月、 12 月と年に 2 度試験がある(N1 が最高ランク)。昨年 7 月には全員 N 4 に合格したものの、12 月の試験では N 3 に全員合格とはならなかった。専門学校からは卒業までに N 3 を取得するよう言われているので、頑張ってもらわないと困るのである。現在は 7 月に N 3 を再受験する人と N 2 受験のグループに分かれ、隔週で週 1 回講座を行っている。

先日、模試の解説をしていると、「寄付」という言葉が出てきた。「皆さん、寄付したことがありますか?」と聞くと、何と全員が手を挙げた。聞くと、家族に仕送りをしているという。「それは家族のためでしょう」と言うと、「家族も使うが、親が亡くなった子どものためにそのお金を使っている」と言う。クーデターで家族を失った人たちなどを共同体で支援している、日本にいる彼ら彼女たちも祖国にお金を送って支援している、ということを知って感動した。

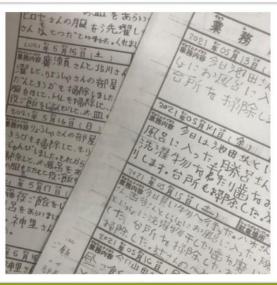
そういえば、私が日本語教師の勉強をしていた時に実習があった。実習といってもどこかの学校に行くのではなく、私が通っていた学校の授業に生徒役として留学生の人が来るのだ。授業で色々な日本の地名が出てくる。東京、京都、北海道、沖縄…。「行ったことがありますか?」と聞くと、全部とは言わないが、多くの所へ遊びに行ったことがあるという。この人たちは大学生であり、それなりに

裕福な人たちが多かったような気がする。そうそうの杜で出会った人たちは、そのように遠くへ遊びに行ったことはあまりないようだ。色々な日本のいい所へ行ってほしいも思うが、祖国へ仕送りしながら頑張っている姿は素晴らしいとも思う(その分、そうそうの杜で研修旅行を設定してくれ、皆さん楽しんだそうだ)。

現在、彼ら彼女らは福祉の専門学校へ通っている。「先生の話は難しくて、よく分からない」という。聞けば、この学年は殆どが外国人だそうだ(なんと、17 人中日本人は 3 人だけ!)。日本人の学生に聞けばどう?というと、聞いても日本人も「僕も分からない」と言うそうだ。色々な意味で困ったものだが、専門学校でも「やさしい日本語」など、外国人留学生への対応を考える必要がありそうだ。

真頼さんからは「日本語を教えて1年たって」をテーマとして与えられたのだが、あまり関係のない内容になってしまった。1年経ってもあまり変わっていない、というわけでは決してない。最初の頃は世間話の中で質問すると、それに対する答えが首をかしげるような内容で、話を続けているうちに最後は正反対の答えに変わるということがよくあった。現在はそんなことは殆どないが、本当に伝わっているかを確認することは今でも大事だとは思う。





とりとめのない話になったが、とにかく彼ら彼女らが日本語能力試験に合格し、専門学校も無事卒業すること、そしてミャンマーの民主化を心から祈る。そして、日本語講座がもっと役に立つよう、勉学に努めようと思う私なのでした。

● 6月15日現在、そうそうの杜で働いている外国人はミャンマー11名(正職1名、専門学校生1年生7名、日本語学校アルバイト3名)韓国1名(正職)7月からネパール1名(専門学校2年生)と国際色豊かになってきています。夢を持って日本に来た人たちが満足できるように応援していきたいと思っています。最終的には文化の違い(日本的な情緒も含め)をどう伝えていくかがポイントだと思います。(荒川)



マンダレー/クトードー・パコダ(寺院)



マンダレー/ウー・ベイン橋/エーヤワディー川

現在のミャンマーの近況

ソー・アウン(支援スタッフ)

今回はミャンマーからの情報が国軍により厳しくコントロールされて、インターネットや電話通信も切られているのでなかなか情報を得られない。そんな中、日本人のフリージャーナリストの北角裕樹さんが Facebook に載せた記事を紹介させて頂きます。

2022年6月8日

私がミャンマーのインセイン刑務所に拘束中だった昨春のある日、目の前の獄舎の一室の格子窓の修理作業が始まった。何事かと周囲の政治犯に尋ねると、「死刑囚が来るんだってよ」。戒厳令地域の軍事法廷ではクーデターに反対する市民らに死刑判決が出ていることが報じられており、その人たちだと気づいて絶句した。死刑囚の若者らに会うことはなかったが、彼らの獄舎では認められている音響機器から、ポップ音楽が毎晩耳障りに響いていた。

そのころ、刑務所内では死刑判決が出ても 執行されることはないという認識だった。ミャンマーでは実質的に執行がなくなってから 30年以上が経過しているとされる。受刑者から聞いた話では、死刑判決が出ても執行されることはなく、恩赦があれば無期懲役に減刑され、その後も恩赦のたびに刑期が減るので、出所することも可能だという話だった。

今回、国軍はこの長年の方針を転換し、元 国民民主連盟(NLD)の国会議員ピョーザヤ トー氏や、民主活動家のジミー氏ら死刑宣告 されている4人の刑を執行すると発表した。 弾圧しても弾圧しても、暴力に屈しない市 民の抵抗を受けて、死刑執行によってさらな る恐怖を与えようというのだろう。政治犯支 援協会(AAPP)によると、クーデター以降、 少年を含む 114 人に死刑が言い渡されている という。欠席裁判のまま死刑になるケースも ある。

国連や各国政府、市民団体などがこぞって 非難声明を出し、執行しないよう求めている。 私が不当に拘束された事件でも調書が捏造さ れているなど、ミャンマーの当局の捜査や裁 判は非常にずさんで強引であり、そもそも合 法的でもない。4人の死刑執行を取りやめ、不 当に収監中のすべての政治犯の解放すること を求める。

記事出典

© Yuki Kitazumi official

https://ne-np.facebook.com/permalink.php?story_fbid=386902906825878&id=109222724593899

そうそうの杜写真館

6月16日に行った田植えの風景です。







七夕祭り作品募集

七夕飾り(笹に飾り付けたもの)を募集します。 応募作品の中から、皆さんの投票で選ばれた 優秀作品 3 点を表彰いたします。 笹が調達できない場合はご相談ください。

展示期間 7月1日~7月8日 作品受付 7月1日9時半~12時 杜のこうさてん、杜の Shokudo に ご持参ください。 表彰式 7月8日15時より 南しぎの商店街 杜のこうさてん前

7月1日作品受付 展示·投票7月1日~8日

優秀作品表彰

主催・問い合わせ 社会福祉法人そうそうの杜 06-6965-7171 後援 南しぎの商店会 城東校下地域活動協議会 南しぎの・鴫野商店街

風鈴街道

7月1日~8月31日

商店街にたくさんの風鈴を飾って、 夏の猛暑を吹き飛ばそう!

社会福祉法人そうそうの杜で購入した200個の風鈴を展示します。100 円であなたのオリジナル風鈴と短冊を作り展示することができます。また、皆様の手作りの風鈴、家で眠っている風鈴がありましたらご寄付ください。

受付 月~金 10 時~14 時 杜のこうさてん

主催・問い合わせ 社会福祉法人そうそうの杜 06-6965-7171 城東

後援 南しぎの商店会 城東校下地域活動協議会

寄付にご協力いただきありがとうございます

社会福祉法人そうそうの杜では、当法人の理念や事業、目的に賛同される方、事業活動へのご支援をいただける方に寄付をお願いしています。書面にて大変失礼かとは存じますがお力添えくださいますようお願い申し上げます。ご支援いただいた寄付金につきましては、大切に使わせていただきます。また、寄付をしていただいた皆様には機関紙「想創奏」をお送りします。

寄付の方法は、以下の郵便振替口座にて御振込いただきますようにお願いします。今後ともご支援、ご協力いただきますように、法人として努力して参りますのでよろしくお願いいたします。

ゆうちょ銀行 口座番号:00940-5-185986 振込先(加入名):そうそうの杜

一般寄付(2022年3月8日~2022年6月4日にご支援頂いた方) 伊藤 光子/倉川 俊介/谷本 利雄/徳田 昌子/原田 てるの/兵藤 多美子/横川 よし子/吉川 愛子 NPOワークショップ'99/今福社会福祉協議会/株式会社ファーストステップ/鍬の会(代表者 野村 徹典) (敬称略)

その他、地域の方々にアルミ缶・牛乳パック・おもちゃ、古本、中古家具等、様々な物品のご寄付を頂いておりますことを、心より感謝申しあげます。いつも本当にありがとうございます!!





社会福祉法人そうそうの杜

法人本部

城東区鴫野東3-2-26 Tel/06-6965-7171 Fax/06-6167-2622

■地域生活支援センターあ・うん (相談支援事業)

Tel/06-6965-7171 Fax/06-6167-2622

■伝 (児童発達支援・放課後等デイサービス)

Tel/06-6955-8070

■北部地域センター(大阪市障がい者就業・生活支援センター)

Tel/06-6955-9921 Fax/06-6167-2622

■杜のShokudo Lianの杜 杜のざっかやさん (就労継続支援B型)

Tel/06-6955-8080 Fax/06-6167-2622

■とことこっと (居宅介護・重度訪問介護・同行援護・移動支援・訪問介護) 城東区中央1-6-28 Tel/06-6167-7530 Fax/06-6955-8826

■庵 (生活介護)

城東区中央1-6-23 Tel/06-6935-0909

■げんげん (生活介護)

城東区鴫野東3-18-5 Tel/06-6180-9670

■創奏 (生活介護)

城東区鴫野東3-3-1 Tel/06-6923-8929

■Kawasemi (就労継続支援A型)

城東区中央1-6-29 Tel/06-6935-1111 Fax/06-6935-1911

■座座 (就労継続支援 B 型)

城東区鴫野東3-2-12 Tel/06-4258-6013

■つむぎ館 (就労継続支援 B 型)

城東区鴫野東3-2-26 Tel/06-6180-6820

■Prife (就労移行支援・就労継続支援B型・就労定着支援)

城東区東中浜2-2-19 Tel/06-6923-8959 (住所、電話番号変わりました)

■いま福の家 (地域密着型・介護予防型通所サービス/共生型生活介護)

城東区今福南4-15-33 Tel/06-6180-7399

■添 (短期入所)

城東区鴫野東3-2-5 Tel/06-6167-5395

■杜のこうさてん(大阪市つどいの広場事業)

城東区鴫野東3-3-3 Tel·Fax/06-6961-5505

